

結核の予防とがんを 考えるつどい

平成28年度

9月24日~30日は結核予防週間。9月はがん征圧月間です。

講演Ⅰ

「まだまだ忘れてはいけない病気～結核～」

【講師】 露口一成 先生

国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 臨床研究センター 感染症研究部

講演Ⅱ

「正しい乳がん検診と予防」

【講師】 阪口晃一 先生

京都府立医科大学大学院 内分泌・乳腺外科学

日時

平成28年 9月30日(金)

開場:午後1時 開演:午後1時30分

会場

龍谷大学 響都ホール
校友会館

京都市南区東九条西山王町31
アバンティ9階

入場無料

事前申込要/先着360名様

お申し込み・
お問い合わせ



一般財団法人

京都予防医学センター

TEL 075-811-9131 FAX 075-811-9138

※お電話・FAXにて先着360名様まで受付けております。

※手話通訳・要約筆記の必要な方は、9月9日(金)までにお申出下さい。



健康長寿のまち・京都

主催:京都市・京都府医師会・京都市地域女性連合会・京都予防医学センター

後援:京都市保健協議会連合会・京都市老人クラブ連合会・京都府栄養士会・京都府看護協会・京都府放射線技師会・
京都労働局・京都労働基準協会・NHK京都放送局・KBS京都・京都新聞・京都新聞社会福祉事業団・朝日新聞
京都総局・産経新聞社京都総局・毎日新聞京都支局・日本経済新聞社京都支社・読売新聞京都総局



結核の動向について

平成27年京都市
新登録患者数

計239人

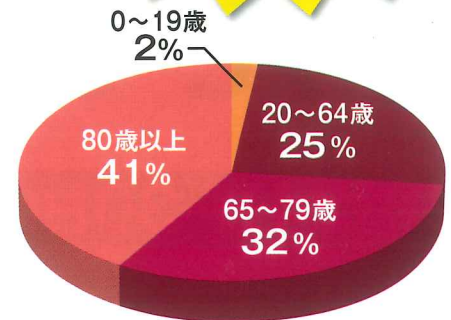
(速報値)

結核は近年、減少傾向にあるとはいえ、今なお我が国最大の感染症です。現在の高齢者は、若いころに流行を経験していて、すでに結核に感染している人が多く、体力や抵抗力が低下した時に眠っていた結核菌が目覚めて発病しやすいといわれており、年齢が上がるほど、結核患者として発見される方が多くなっています。

反対に若い世代の多くは未感染のため、菌を吸い込むと感染しやすく、比較的早い時期に発病する危険があります。

結核の早期発見のため、年に1回は必ず検診を受けましょう。

※65歳以上の方は毎年胸部検診を受けるよう、感染症法に定められています。【平成27年京都市結核新登録者年齢階級別内訳】



がんの動向について

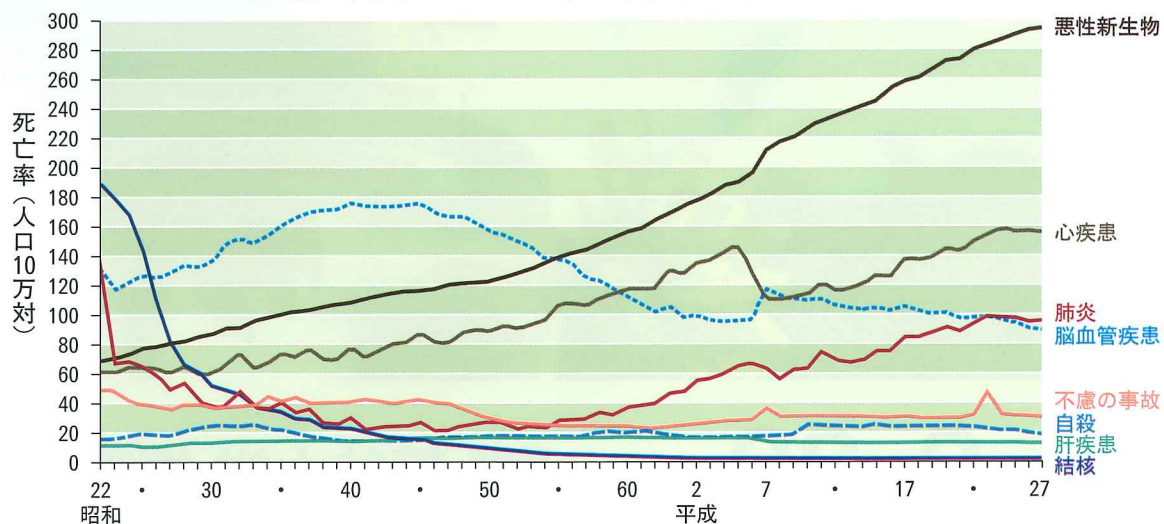
がんは昭和56年以来、わが国の死亡原因の第1位であり、死亡数と罹患数は年々増加しています。

主要死因別で見ると、他の疾病を大きく引き離しており、現在、日本人の2人に1人ががんに関連し、3人に1人ががんで亡くなっていると言われています。

また、部位別のがん死亡数は、全体では肺がんが最も多く、胃がん、大腸がんが続いています。

一方罹患数は、全体ではこれまでトップであった胃がんを抜き、大腸がんが最も多く、続いて胃がん、肺がんの順番となっています。

【主要死因別にみた死亡率の年次推移（人口10万対）】



資料：厚生労働省人口動態統計（昭和22年～平成27年）

【部位別にみたがんの死亡数（平成26年）】

		1位	2位	3位	4位	5位
男性	部位	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
	人数	52,505人	31,483人	26,177人	19,208人	16,411人
女性	部位	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
	人数	22,308人	20,891人	16,420人	15,305人	13,240人
全体	部位	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
	人数	73,396人	48,485人	47,903人	31,716人	29,543人

【部位別にみたがんの罹患数（平成24年）】

		1位	2位	3位	4位	5位
男性	部位	胃	大腸	肺	前立腺	肝臓
	人数	91,006人	77,365人	76,913人	73,145人	28,623人
女性	部位	乳房	大腸	胃	肺	子宮
	人数	73,997人	57,210人	41,153人	36,134人	25,218人
全体	部位	大腸	胃	肺	乳房	前立腺
	人数	134,575人	132,159人	113,047人	73,997人	73,145人

出典：国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター